日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより
SIDE-A

今年こそ、ウクライナにもガザにも平和が訪れますように。
**　軍事費よりも教育・社会保障の充実を。**
今年も、住民の利益第一皆さんと共に政治を前に進めるために頑張ってまいります。

2024 年　元旦

12月19日
高橋千鶴子衆議院議員会館で、高橋衆議院議員に県議会建設委員会からの要望書を手渡す（右に）工藤建設委員長、右に川村委員、鶴賀谷委員左端安藤

すくっと立つ
私辰年
前を向く
（はるみのワクワク川柳）

今年も、「雨にも負けず、風にもまけず、雪にも夏の暑さにも負けぬ・・・」の思いで、週２回の朝街宣を市議や後援会の方と共に頑張ってまいります。

りんご問題でりんご協会、弘果、JA 津軽みらい、つがる弘前農協で調査(写真は12月22日田端県議、千葉市議、三浦市議、すとう各弘前市議、工藤黒石市議、齋藤平川市議と共に)

ほっとタイム
（裏金疑惑）

日曜版スクープに端を発した自民党派閥の政治資金パーティー裏金疑惑は、とうとう東京地検特捜部による強制捜査に発展しています。しんぶん赤旗の集金に出向いた私に、読者の方が「今日友達とお茶してきたんだけど、裏金の話になってね、私たちも裏金ほしいわよね。でも私たちパーティー開いても誰も来ないし無理ね。本当に腹がたつ。安藤さんにこの怒り聞いてほしいけど、話しだしたら一晩掛かってしまう」と訴えられました。年金で細々と暮らす庶民には信じられないお金が裏金として暗躍しているのですから、国民の怒りは温暖化と一緒で沸騰しています。

東京地検特捜部が昨年までの5年間で安倍派は5億円、二階派は億単位のパーティー収入を政治資金収支報告書に記載していなかった政治資金規正法違反（不記載）の疑いで、安倍派「清和政策研究会」と二階派「志帥会」の事務所を捜索したのが12月19日。私は、この日建設委員会の8人で、国土交通省に出向き斉藤鉄夫国土交通大臣をはじめ3人の局長や次長に対して要望活動をしていました。この要望活動に自民党の津島淳、木村次郎衆議院議員らが同行されました。控室で面会の待機していた時の雑談で、当委員会の委員長が木村代議士に向かって「ご飯おごってもらえない。」と冗談めいて突っこむと「いやいやお金ないですよ。2万円も入っていないですから。安藤先生がにらんでいますからやめましょう」と苦笑い。安倍派所属の同氏はマスコミの取材に対し「慎重に事実関係を確認し適切に対応する」とのコメントを発していますので、最中確認作業に追われている時だったのでしょう。

政治資金パーティーが企業・団体献金の“抜け道“となり、裏金づくりなどの温床となっています。日本共産党は臨時国会で、パーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止法案を参院に提出しました。また、野党が一致して岸田内閣不信任決議案を衆議院に提出しました。残念ながら共に否決されました。

新しく迎える本年は、国民も加わる団結と1票の武器を使って自公政治を退場させ金権腐敗政治を一掃させ、平和で豊かな日本に舵を切る年としていきましょう。

発行：安藤はるみ　事務所　弘前市宮川２丁目３－２　電話０１７２－３５－７０２１　自宅０１７２－３５－２２７０
9：00～14：00（土・日・祝日左記時間以外は留守電対応）
Eメール　ando-harumi@theia.ocn.ne.jp　ホームページアドレス　http：// ando-harumi.com/
X（旧）Twitter　安藤はるみ　日本共産党　で検索　フォロワー４４８人（12 月 25 日現在）

１２月の相談件数２件
ホームページアクセス数　37,728 件
12 月 1 日から 24 日まで

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより

SIDE-B

ご近所にアジサイだよりを5枚でも10枚でも配布して下さる方がありましたらご一報下さい。

12月6日建設委員会で質問

県営住宅の指定管理者提案に対し、利益を目的とした株式会社に指定するのは、住民本位の立場で管理することは限界があるとの立場で反対

令和６年度から８年度までの指定管理の提案がありましたが、県内５市全ての指定管理をこれまで同様全て４つの株式会社の指定で提案されました。安藤が問題にしたのは、競争が成立したのはむつ市だけであること。他の、青森・弘前・八戸・五所川原は１社のみの申請で、どのように合否を決めたのか質しました。

千葉建夫建築住宅課長は「審査委員５名の合計点が５００点満点中２５０点未満の場合指定管理者としてふさわしくないと評価され審査委員で判断する。」と答弁。今回の審査ではすべて３５０点を超え管理者として妥当とされ提案されました。尚、応募がない場合は、どうするのかの問いに対し

課長は「再募集し、それでも決まらなければ再々募集をかける。決まるまでは、県直営で行う」と答弁しました。

ちなみに弘前地区の９カ所の県営住宅の指定管理者はこれまで同様豊産管理（株）に決まり青森地区10カ所も担います。安藤はこれまでも、交通の不便な場所に事務所があることを問題視してきましたが、この点について

課長は「指定管理者が市街地に事務所を設置すると、土地や建物の賃貸料など多額の負担が新たに生じ、応募条件にすることは難しい。今後とも入居者または申込者が、不便を感じないよう引き続き内容について協議・打ち合わせを行う」と答弁しました。

県が田子町で実施した急傾斜地崩壊対策事業の擁壁の設計不適切事案について質す

村田尚樹河川砂防課長は「昨年５月30日に実施された会計検査院による会計実地検査において、平成28年度から令和３年度までに施工した擁壁について、設計時に誤った条件で計算している旨の指摘を受けた。県が安定計算の再精査を実施した結果、斜面の高さを本来計算すべき高さより低く設定していたため擁壁の安定性が確保できないことが判明した」と答弁。設計が不適切となった原因について課長は「設計業務を受注した事業者の認識不足と県職員の確認ミスが重なった」と答弁。

さらに対応策を質すと「安定性を確保するためにアンカー工による補強工事を昨年12月に着手し３月に完了している。再発防止策として関係職員に対して情報共有を図っている他、公文書による注意喚起を行った」と答弁しました。設計不適切事案が生じないよう強く要望しました。

他に、青森港周辺海域における洋上風力発電の導入に向けた青森港油川地区ふ頭基地港湾化に向けた用地造成事業に関わる質問などをしました。

～はるみ事務所の風～

私は、我が家の中２女子が通う学校で、ＰＴＡ役員をしております。学校のＰＴＡ新聞を作る広報委員会です。

何かしら学校のイベントがあると、カメラを持って、腕章をつけてズカズカと（コソコソと）生徒たちの中に入って、良い顔を撮ってやろうとかまえます。まームズカシイ！良い顔なんて撮れない。技術が足りなさすぎる。せっかくの機能無価値。

春から私も３年生（広報）ですので、悔いのないように勉強し（カメラの）、目標（イベント）に向かって突き進みます。

（葛原未来）